

	教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と 新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築 東浦町SP通信 ～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、 「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～	第7号 2026年8月5日 編集 緒方 なな 東浦町教育委員会 SPコーディネーター
---	---	---

生路小学校 夏休みの宿題・課題補助

あっという間に1学期が終わりました。1学期活動してくださったSPさん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

1学期の終業式が終わり、翌週の7月28日～30日の3日間、生路小学校で夏休みの宿題・課題補助の活動があり、6名のSPさんが来てくれました。大変暑い中、また、朝早く遠方から2時間近くかけてきてくれたSPさんもありました。各日2～3名のSPさんが子どもたちにたっぷり寄り添いながら、宿題のサポートをしていていました。普段は別の学校でウィークリーSPとして活動しているSPさんや生路小学校に来るのが2回目（去年も参加）のSPさんがほとんどだったので、とても頼もしく、そしてスムーズに動いてくれているように感じました。また、東浦町のSP活動に初参加の方もいましたが、他の地域でこうした学習支援のボランティアに参加したことがあるとのことで、6名ともあっという間に子どもたちの中に入っていき、子どもたちも暑い中、学校にやってきます。何とか宿題を終わらせたい、1学期分からなかったところを何とかしたい、そんな思いで来ていると感じました。6名のSPさんは、「ここ難しいよね。」「よし、一緒にやってみよう。」「〇〇さんならできるよ！大丈夫。」と温かい声をかけてじっくり関わってくれました。あの手この手で、約2時間、子どもたちの学習をあれだけ密度濃くサポートできるなんて、教職を目指す学生さんの力は、すごいです。3日間ありがとうございました。

まだまだ夏休みは続きます。来月後半には、「わくわく算数・数学教室」があります。350名近くの小中学生が参加予定です。多くのSPさんの力を借りて、今年も子どもたちの“楽しい夏の思い出”の一幕をつくれたらと思います。よろしくお願いいたします。

